

系	統	ガラスマット混入不飽和ポリエステル樹脂成型板				
特	長	1) 表面に100 μ mのビニルエステル樹脂コーティングを施しており、卓越した耐酸性を有している。 2) 表面が平滑で、水の流下能力が向上する。 3) 透明性があり、裏込め注入材の注入状況が確認できる。				
用	途	下水道防食被覆用シートライニング材 「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術指針・同マニュアル」 (平成14年12月) D ₂ 種適合				
外	観	性状	淡黄緑色透明シート (裏面サンディング処理)			
寸	法	厚さ4mm (標準) × 幅350mm、500mm、1000mm × 長さ 任意				
比	重	1.44 (測定値)				
使	用	方	法	1) 現地躯体形状に合わせて割付を決定し、墨出しする。 2) PSファスナーの貼付位置を躯体およびPSシートに墨出しする。 3) 割付にしたがって、PSシートを裁断する。 4) PSシート中央部に500mmピッチで注入孔を削孔する。 5) PSシートとPSシートの取合部周辺 (目地部、出隅部、入隅部) は、PSシールを貼るので、サンドペーパー等により、目荒らし処理を行う。 6) 躯体およびPSシートの墨出しした位置にWBシールを用いてPSファスナーを貼る。 7) WBシールの硬化後、PSファスナーのコンクリート躯体側にWBシールを擦り付ける。 8) PSファスナーに塗布したWBシールが硬化する前に、木槌等で叩きながら、所定の位置にPSシートを取り付ける。 9) WBシールが硬化した後、WBグラウトGを注入する。		
使	用	上	の	注	意	1) 施工面が曲面の場合、注入厚、シート厚を考慮して割付を行う。 2) 目荒らし処理を行う場合、PSシール貼付箇所以外を損傷させないように、養生を施す。 3) PSシートの取付時、木槌により打撃を与える際は、ゴム板等をあて、表面を傷つけない。 4) 切断、削孔等の作業は、ヤード等の作業性の良い箇所で行い、電動工具を使用する際は、皮手袋、保護メガネを着用する。 5) 樹脂使用の際は、ゴム手袋等の適正な保護具を着用し、火気等を近隣で扱わない。